

令和2年度厚生労働科学特別研究
「救急外来における医師・看護師等の勤務実態把握のための調査研究」について
(報告事項)

「救急外来における医師・看護師等の勤務実態把握のための調査研究」の概要

研究の経緯

- 「救急・災害医療提供体制等の在り方に関する検討会」(以下、検討会とする。)において、高齢化の進展により救急医療のニーズが今後更に高まると予想される中で、救急医療に従事する者の確保が重要な課題であるとされた。
- 検討会としての今後の基本的方向性として、「救急外来」における看護師の配置状況や業務実態の調査研究を行い、その結果を踏まえ、当検討会で議論し、「救急外来」等への看護師の配置等など必要な措置を行うことと整理した。
- 上記方針を踏まえ、令和2年度厚生労働科学特別研究「救急外来における医師・看護師等の勤務実態把握のための調査研究」※を実施中。

※研究テーマには、新型コロナウイルス感染症対応による「救急外来」への影響を含む

研究体制

研究代表者

任 和子(京都大学大学院 医学研究科・人間健康科学専攻 教授)

研究分担者(五十音順)

秋山 智弥(学校法人岩手医科大学 看護学部 共通基盤看護学講座 特任教授)

猪口 正孝(公益社団法人 全日本病院協会 常任理事)

井本 寛子(公益社団法人 日本看護協会 常任理事)

織田 順(東京医科大学 救急・災害医学分野 主任教授)

木澤 晃代(日本大学病院 看護部 看護部長)

長島 公之(公益社団法人 日本医師会 常任理事)

馬場 武彦(社会医療法人ペガサス馬場記念病院法人本部 理事長)

藤野 智子(聖マリアンナ医科大学病院 看護部 看護師長)

松田 潔(日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 教授)

弓岡 一恵(地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 看護部 副院長)

研究内容

- 全国の第三次救急医療機関、第二次救急医療機関を対象としたアンケート調査
- 「救急外来」に従事する看護師等を対象としたタイムスタディ調査(協力同意が得られた医療機関)



「救急外来」等における看護師の勤務実態等について分析を行う。